

厚生労働大臣 殿

熊本大学医学部附属病院長
倉津純一

熊本大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	65.5人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	193人	268.2人	461.2人	看護業務補助	15人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	28人	33.0人	理学療法士	8人	臨床検査 衛生検査技師	51人
薬剤師	23人	11人	34.0人	作業療法士	4人		その他
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	4人	あん摩マッサージ指圧師	0人
助産師	20人	6人	26.0人	義肢装具士	0人	医療社会事業従事者	0人
看護師	399人	196.0人	595.0人	臨床工学技士	4人	その他の技術員	14人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	事務職員	115人
歯科衛生士	0人	0人	0人	歯科技工士	1人	その他の職員	11人
管理栄養士	4人	0人	4.0人	診療放射線技師	29人		

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。
- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	657.8人	20.0人	677.8人
1日当たり平均外来患者数	1148.7人	74.8人	1223.5人
1日当たり平均調剤数	1000.9剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数を(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類 (医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0 人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術 (内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物 P 糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープン MR を用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍の CT ガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィー症の DNA 診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI 法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下顎部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症の DNA 診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスの DNA 診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	7 人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0 人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変の HPV-DNA 診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0 人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害の DNA 診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病の DNA 診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6 人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	0人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31 燐-磁気共鳴ホトロスコピーとガガのト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血管細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD (アナログ) 直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術 (PPH)	有・ <input type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
眼底三次元画像解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
CYP2C19 遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線 CT 画像装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的 CT を用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。
2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。
3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	51人	・モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	49人
・多発性硬化症	73人	・ウェゲナー肉芽腫症	5人
・重症筋無力症	127人	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	40人
・全身性エリテマトーデス	203人	・多系統萎縮症	18人
・スモン	8人	・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	0人
・再生不良性貧血	40人	・膿疱性乾癬	2人
・サルコイドーシス	84人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・筋萎縮性側索硬化症	21人	・原発性胆汁性肝硬変	33人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	235人	・重症急性膵炎	6人
・特発性血小板減少性紫斑病	52人	・特発性大腿骨頭壊死症	16人
・結節性動脈周囲炎	45人	・混合性結合組織病	38人
・潰瘍性大腸炎	64人	・原発性免疫不全症候群	1人
・大動脈炎症候群	23人	・特発性間質性肺炎	23人
・ビュルガー病	5人	・網膜色素変性症	15人
・天疱瘡	4人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	85人	・原発性肺高血圧症	2人
・クローン病	38人	・神経繊維腫症	25人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	12人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・悪性関節リウマチ	6人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	150人	・突発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	4人
・アミロイドーシス	76人	・ライソゾーム病（ファブリー[Fabry]病）含む	7人
・後縦靭帯骨化症	21人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	0人		

（注）「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に	2回程度	
剖検の状況	剖検症例数	23例	剖検率 12.2%

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助金等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元(※)
1	抗がん薬血中濃度モニタリング及び薬物動態関連遺伝子情報に基づく個別投与設計法の確立	松本 充博	呼吸器内科	1,500,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
2	疾患プロテオミクスを用いた肝癌におけるアポトーシス抵抗性の分子基盤の解明	佐々木 裕	消化器内科	8,700,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
3	細菌性プロテアーゼによるアポトーシスの誘導と病原性発現機序に関する研究	田村 文雄	消化器内科	1,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
4	多発性骨髄腫の発癌ないしは発癌維持におけるPU. 1発現低下の意義	奥野 豊	血液内科/ 膠原病内科	1,100,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
5	多発性骨髄腫におけるメルファラン輸送を介した抗がん剤耐性機序の研究	原田 奈穂子	血液内科/ 膠原病内科	1,100,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
6	プロテアーゼネクシン1によるプロスタシンの阻害、降圧利尿薬開発への応用	安達 政隆	腎臓内科	1,900,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
7	糖尿病性腎症の糸球体上皮細胞(足細胞)障害におけるGSK-3βの役割の検討	井上 武明	腎臓内科	1,700,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
8	プロスタシンの腎線維化に関する研究	白石 直樹	腎臓内科	1,600,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
9	プロスタシンのプロテアーゼカスケードの網羅的解析による創薬基盤の開発	富田 公夫	腎臓内科	7,200,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
10	プロスタシンを標的とした食塩感受性高血圧症の診断および新規降圧薬の創薬	北村 健一郎	腎臓内科	1,700,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
11	VLaノックアウトマウスを用いた抗利尿ホルモン受容体機能解析と新たな利尿薬開発	野々口 博史	腎臓内科	1,700,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
12	新規ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤による糖代謝制御	荒木 栄一	代謝・内分泌内科	10,000,000	委 独立行政法人医薬基盤研究所
13	2型糖尿病患者における無症候性心筋虚血の評価	水流添 覚	代謝・内分泌内科	115,500	委 (財)循環器病研究振興財団
14	インスリン受容体の新規肝特異的転写因子のプロテオミクス解析と制御シグナルの解明	宮村 信博	代謝・内分泌内科	1,300,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
15	小胞体シャペロンおよび下流シグナル分子の制御による膵β細胞機能の調節	近藤 龍也	代謝・内分泌内科	1,500,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
16	低分子量G蛋白関連分子Rho-kinaseによるインスリン遺伝子発現調節	古川 昇	代謝・内分泌内科	2,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
17	Ca/CaM依存性プロテインキナーゼIIによる膵β細胞機能の調節	水流添 覚	代謝・内分泌内科	1,300,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
18	光学的手法を用いた非侵襲的血糖値・ヘモグロビンA _{1c} 同時測定システムの開発	西田 健朗	代謝・内分泌内科	1,300,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
19	ポリイミドを用いた易操作性超小型ブドウ糖センサの開発	下田 誠也	代謝・内分泌内科	1,700,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
20	メタボリックシンドロームの動脈硬化症早期発見と治療を目的とした網膜病変解析の有効性に関する前向き調査	荒木 栄一	代謝・内分泌内科	13,000,000	補 厚生労働省(科研費)
21	糖尿病における血管リモデリングへのmtROSの関与とその制御による動脈硬化の抑制	西川 武志	代謝・内分泌内科	1,800,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)

小計21

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助金等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元(※)
22	アルドステロンの心肥大に及ぼす分子機構の研究	吉村 道博	循環器内科	1,900,000	委 国立循環器病センター
23	心筋虚血再灌流モデルにおけるCCケモカイン受容体欠損と再灌流障害抑制効果	海北 幸一	循環器内科	1,100,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
24	大血管症と細小血管症・微小血管障害に対するアディポネクチンの有効性に関する研究	小島 淳	循環器内科	2,300,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
25	動脈硬化症患者に於ける脆弱性の評価・検討とその指標の臨床応用	杉山 正悟	循環器内科	1,700,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
26	心臓で合成されるホルモン群と心疾患との関連性の研究	吉村 道博	循環器内科	7,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
27	心筋虚血時における炎症細胞由来マーカーの遺伝子発現に関する基礎および臨床的研究	小川 久雄	循環器内科	6,700,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
28	水俣病認定患者の神経症候の経時的推移に関する研究	内野 誠	神経内科	3,710,000	委 独立行政法人環境再生保全機構
29	眼喉頭筋ジストロフィーの血管機能異常が筋組織に及ぼす影響に関する研究、及びDDSを用いたゲンタマイシン治療の開発	内野 誠	神経内科	1,000,000	委 国立精神・神経センター
30	眼咽頭筋ジストロフィーの病態解明・治療開発—細胞・動物モデルを用いて	宇山 英一郎	神経内科	1,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
31	治験の実施に関する研究[酢酸リュープロレリン]	内野 誠	神経内科	2,800,000	補 厚生労働省(科研費)
32	新世代アデノウイルスベクターとトランスポーズによる筋ジストロフィーの遺伝子治療	内野 誠	神経内科	1,800,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
33	筋ジストロフィーの遺伝子治療	木村 円	神経内科	1,380,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
34	術後冠状動脈造影に基づいたバイパスグラフトの選択と使用法に関するガイドライン作成のための日米多施設共同研究	川筋 道雄	心臓血管外科	600,000	委 国立循環器病センター
35	人工呼吸管理中にしゃべれる気管切開チューブの開発	野守 裕明	呼吸器外科	1,900,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
36	肺腺癌の診断および悪性腫瘍度予測のためのAcetate-PETの臨床的研究	野守 裕明	呼吸器外科	18,607,000	補 厚生労働省(科研費)
37	術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験	馬場 秀夫	消化器外科	819,000	委 財団法人がん集学的治療研究財団
38	化学放射線療法感受性による食道癌治療の個別化に関する研究	馬場 秀夫	消化器外科	1,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
39	m-calpainを標的分子とした分裂期分子標的治療の基礎的研究	本田 志延	消化器外科	1,900,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
40	乳癌における癌転移関連遺伝子、蛋白の臨床的重要性	岩瀬 弘敬	乳腺・内分泌外科	1,200,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
41	術前腎機能不全が周術期移植肝に与える影響とその対策に関する基礎的検討	武市 卒之	小児外科/移植外科	1,100,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
42	ドミノ肝移植レシピエントの、ドナー原疾患発症に影響する因子の解明	猪股 裕紀洋	小児外科/移植外科	2,200,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)

小計21

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助金等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元(※)
43	膀胱平滑筋におけるムスカリン性アセチルコリン受容体の役割と機能的意義	稲留 彰人	泌尿器科	600,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
44	過活動膀胱の発生機序に関する研究—高脂血症と膀胱虚血の影響について—	吉田 正貴	泌尿器科	2,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
45	腎細胞癌のコレステロール蓄積機構の解明	松本 賢士	泌尿器科	1,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
46	ヒト卵巣表層上皮細胞におけるエストロゲン活性の局所調節	永吉 裕三子	婦人科	1,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
47	卵巣癌発癌における腹腔マクロファージ由来サイトカインの影響	宮原 陽	婦人科	1,100,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
48	子宮内膜間質細胞と共培養した不活化卵巣表層上皮細胞の細胞形質の変化に関する研究	大竹 秀幸	婦人科	1,500,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
49	染色体安定性不活化ヒト卵巣表層上皮細胞を用いた卵巣癌実験モデルの作成	片渕 秀隆	婦人科	5,200,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
50	ブタ内胚葉系幹細胞の供給と肝・膵臓モデルの細胞移植治療	遠藤 文夫	小児科	23,750,000	委 (独)農業・生物系特定産業技術研究機構
51	先天代謝異常症による臓器障害の病態解明と治療法の開発	遠藤 文夫	小児科	1,000,000	委 国立成育医療センター
52	内胚葉系幹細胞を用いた新規創薬の評価システムの作成	遠藤 文夫	小児科	4,032,000	委 (独)科学技術振興機構
53	遺伝性肝疾患における内胚葉幹細胞の役割とその制御	遠藤 文夫	小児科	6,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
54	先天性無痛症の分子遺伝学的基盤	犬童 康弘	小児科	1,500,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
55	小児期発症メタボリックシンドロームにおけるカルシウムシグナルの役割	中村 公俊	小児科	2,200,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
56	デュシャンヌ型筋ジストロフィーの血管機能異常が筋組織に及ぼす影響に関する研究、及びDDSを用いたゲンタマイシン治療の開発	三池 輝久	発達小児科	1,000,000	委 国立精神・神経センター
57	ECOLOGを用いた生体リズムの詳細な分析	三池 輝久	発達小児科	520,000	委 (独)科学技術振興機構
58	引きこもりに繋がる小児慢性疲労、不登校の治療・予防に関する臨床的研究	三池 輝久	発達小児科	4,320,000	補 厚生労働省(科研費)
59	通電処理による牛乳アレルギー活性低減化に関連する蛋白高次構造の研究	松本 知明	発達小児科	1,900,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
60	小児慢性疲労症候群(CCFS)における高照度光治療法の確立	上土井 貴子	発達小児科	1,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
61	ポンペ病(糖原病Ⅱ型)に対する酵素補充療法の効率改善のための基礎的研究	池澤 誠	発達小児科	1,300,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
62	筋ジストロフィーに対する細胞治療に向けての筋幹細胞の分離及び作製	木村 重美	発達小児科	2,000,000	委 国立精神・神経センター
63	変形性関節症の軟骨細胞死におけるオートファジー現象の解析	水田 博志	整形外科	3,200,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
64	ヒト乳頭腫ウイルス型特異的細胞変性効果に関する分子病理学的研究	江川 清文	皮膚科/ 形成・再建科	1,800,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)

小計22

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助金等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元(※)
65	強皮症皮膚線維芽細胞におけるコラーゲン遺伝子転写制御・情報伝達の研究	尹 浩信	皮膚科/ 形成・再建科	1,100,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
66	眼内血管新生病におけるアンジオポエチン関連蛋白に関する研究	伊藤 康裕	眼科	1,300,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
67	ヘパラン硫酸による視神経投射機構の解明	稲谷 大	眼科	3,900,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
68	グリコサミノグリカン糖鎖リモデリングによる高効率な視神経再生治療の開発	稲谷 大	眼科	2,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
69	グライコミクスに基づいた眼疾患の病態解明と新しい治療概念の創出	稲谷 大	眼科	9,100,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
70	FGFシグナル関連因子が結膜瘢痕化に与える影響	越山 靖夫	眼科	2,100,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
71	初代網膜色素上皮培養細胞における形質転換および移植手術に関する研究	川路 隆博	眼科	2,500,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
72	房水流出機構の分子基盤の解明に基づく新しい眼圧下降治療の創出に関する研究	谷原 秀信	眼科	10,300,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
73	網膜幹細胞のニッチ環境の解析と多分化能を維持した状態での高効率の培養法の開発	谷原 秀信	眼科	1,300,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
74	正常眼圧緑内障に対する早期発見のスクリーニングシステム構築と最適化された診療指針の確立に関する研究	谷原 秀信	眼科	15,600,000	補 厚生労働省(科研費)
75	緑内障、あなたの目は大丈夫ですか？	谷原 秀信	眼科	480,000	補 厚生労働省(科研費)
76	酸化LDL受容体を介した脈絡膜新生血管形成機構の解明及び治療開発に関する研究	筒井 順一郎	眼科	1,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
77	自己網膜幹細胞移植における網膜環境因子の制御機構に関する研究	福島 美紀子	眼科	2,100,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
78	外科系臨床医学感覚医学分野に関する学術動向の調査・研究	谷原 秀信	眼科	3,500,000	委 独立行政法人日本学術振興会
79	PC3遺伝子が及ぼす内耳感覚器領域発現遺伝子の発現パターンの変化と形態学的変化	山西 貴大	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	1,290,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
80	遺伝子改変を行ったマウス胚性幹細胞からの効率的な内耳有毛細胞の分化誘導方法の開発	松吉 秀武	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	1,500,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
81	遺伝子治療による挿管後の気管狭窄抑制	深見 直美	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	2,500,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
82	Smad7遺伝子の蝸牛への導入による細菌性髄膜炎後の蝸牛骨化の予防	増田 聖子	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	1,200,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
83	頭頸部癌における接着分子CD44連続的切断の意義の解明	村上 大造	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	500,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
84	アデノ随伴ウイルスベクターを用いたPC3の過剰発現による蝸牛有毛細胞の再生	養田 涼生	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	1,500,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
85	頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法への検討	養田 涼生	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	682,500	委 財団法人先端医療振興財団

小計21

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助金等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元(※)
86	口腔癌における腫瘍特異抗原の同定と、それを用いた抗腫瘍免疫療法の確立	吉武 義泰	歯科口腔外科	1,100,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
87	ゲノム遺伝子解析による癌の個性診断と分子標的治療への応用	篠原 正徳	歯科口腔外科	6,500,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
88	分離唾液腺幹細胞の再構築による唾液腺再生療法の開発	平木 昭光	歯科口腔外科	1,400,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
89	急性期脳虚血病変に於ける範囲判定の精度向上に関する研究	平井 俊範	放射線診断科	1,500,000	委 国立循環器病センター
90	高精度三次元放射線治療と同時化学放射線療法における放射線性肺毒性の基礎的研究	大屋 夏生	放射線治療科	2,100,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
91	血漿タンパク質におけるAGE構造体含有量とアルツハイマー病の認知機能との関連	城野 匡	神経精神科	600,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
92	アルツハイマー病/虚血性神経細胞障害との共通病態の解明とその治療法の開発	森岡 基浩	脳神経外科	1,100,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
93	悪性グリオーマの病態解明と新しい治療戦略	倉津 純一	脳神経外科	4,500,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
94	悪性グリオーマにおける免疫抑制機構の解明と自殺キメラ分子を用いた腫瘍免疫賦活療法	竹島 秀雄	脳神経外科	4,500,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
95	悪性脳腫瘍関連遺伝子h-neuの機能解析とそれを応用した分子標的治療の開発	中村 英夫	脳神経外科	1,200,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
96	N-acetyl-aspartyl-glutamateの生体内での役割	山本 達郎	麻酔科	6,081,538	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
97	痛覚閾値の個体差に立脚した周術期鎮痛管理法の開発	志茂田 治	麻酔科	1,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
98	腎特異的なストレス応答機構と異物解毒システムの機能連関解析に基づく腎障害防御戦略	齋藤 秀之	薬剤部	3,600,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
99	自律神経学的アプローチによるメタボリックシンドロームの発症機序解明と治療法の開発	大林 光念	中央検査部	700,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
100	アミロイドニューロパチーの新たな治療法の開発	安東 由喜雄	中央検査部	550,000	委 国立精神・神経センター
101	アミロイド形成機構を元に考案したアミロイドポリニューロパチーの新たな治療法の開発	安東 由喜雄	中央検査部	4,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
102	心停止犬を用いた血栓溶解療法の有効性	一瀬 景輔	中央手術部	3,400,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
103	癌細胞におけるNOによるIRS-1ユビキチン化の分子生物学的メカニズムの解明	杉田 裕樹	集中治療部/救急部	2,000,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
104	癌の間質浸潤過程におけるコラーゲンレセプターによる負の制御機構の解明	蒲原 英伸	集中治療部/救急部	2,100,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
105	学生習熟度別客観的臨床技能向上支援システム開発の研究	宇宿 功市郎	医療情報経営企画部	700,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)
106	新規抗HIV剤の感受性に与えるケモカイン・ケモカインレセプターの多様性の検討	宮川 寿一	感染免疫診療部	1,300,000	補 文科省・日本学術振興会(科研費)

小計21

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助金等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元(※)	
107	成人T細胞白血病に対するウイルス抗原を標的とした免疫療法の基盤研究	野坂 生郷	感染免疫診療部	1,500,000	補	文科省・日本学術振興会(科研費)
108	シミュレーターなどを用いた、新しい医学教育プログラムの開発と実行、教育効果の検討	松井 邦彦	総合臨床研修センター	3,600,000	補	文科省・日本学術振興会(科研費)

小計2

合計 108

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1 J. Med. Chem.	Structure-Based Design of HIV-1 Protease Inhibitors to Combat Drug Resistance.	Ghosh, A.K. & Mitsuya, H. et al.	血液内科/ 膠原病内科/ 感染免疫診療部
2 Blood	A randomized study with or without intensified maintenance chemotherapy in patients with acute promyelocytic leukemia who have become negative for PML-RARa transcript after consolidation therapy.	Asou N. & Mitsuya, H. et al.	血液内科/ 膠原病内科/ 感染免疫診療部
3 J. Biol. Chem.	Structural and molecular interactions of CCR5 inhibitors with CCR5.	Maeda, K. & Mitsuya, H. et al.	血液内科/ 膠原病内科/ 感染免疫診療部
4 Nucleic Acids Symposium Series.	2'-Deoxy-4'-C-ethynyl-2-fluoroadenosine: A nucleoside reverse transcriptase inhibitor with highly potent activity against all HIV-1 strains, favorable toxic profiles and stability in plasma.	Ohruai, H. & Mitsuya, H. et al.	血液内科/ 膠原病内科/ 感染免疫診療部
5 Blood	Concurrent transcriptional deregulation of AML1/RUNX1 and GATA factors by the AML1-TRPS1 chimeric gene in t(8;21)(24;q22) acute myeloid leukemia.	Asou N. & Mitsuya, H. et al.	血液内科/ 膠原病内科/ 感染免疫診療部
6 Cancer Res.	Downregulation of PU.1 by methylation of distal regulatory elements and the promoter is required for myeloma cell growth.	Tatetsu H. & Mitsuya, H. et al.	血液内科/ 膠原病内科/ 感染免疫診療部
7 Kidney Int.	Downregulation of organic anion transporters in rat kidney under ischemia/reperfusion-induced acute renal failure.	富田 公夫	腎臓内科
8 Am J Kidney Dis	Successful treatment of a patient with severe calcific uremic arteriolopathy (calciphylaxis) by etidronate disodium.	北村 健一郎	腎臓内科
9 Diabetes	Impact of mitochondrial reactive oxygen species and apoptosis signal-regulating kinase 1 on insulin signaling.	Imoto K, Kukidome D, Nishikawa T, Matsuhisa T, Sonoda K, Fujisawa K, Yano M, Motoshima H, Taguchi T, Tsuruzoe K, Matsumura T, Ichijo H, Araki E.	代謝・内分泌内科
10 Atherosclerosis.	Troglitazone inhibits oxidized low-density lipoprotein-induced macrophage proliferation: impact of the suppression of nuclear translocation of ERK1/2.	Yano M, Matsumura T, Senokuchi T, Ishii N, Motoshima H, Taguchi T, Matsuo T, Sonoda K, Kukidome D, Sakai M, Kawada T, Nishikawa T, Araki E.	代謝・内分泌内科
11 J Artif Organs	Development of a highly responsive needle-type glucose sensor using polyimide for a wearable artificial endocrine pancreas.	Ichimori S, Nishida K, Shimoda S, Sekigami T, Matsuo Y, Ichinose K, Shichiri M, Sakakida M, Araki E.	代謝・内分泌内科
12 Diabetes Res Clin Pract	A case of slowly progressive type 1 diabetes with unstable glycemic control caused by unusual insulin antibody and successfully treated with steroid therapy.	Matsuyoshi A, Shimoda S, Tsuruzoe K, Taketa K, Chirioka T, Sakamoto F, Sakakida M, Miyamura N, Araki E.	代謝・内分泌内科

小計12

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
13	Diabetes Res Clin Pract	Possible relevance of alpha lipoic acid contained in a health supplement in a case of insulin autoimmune syndrome.	Furukawa N, Miyamura N, Nishida K, Motoshima H, Taketa K, Araki E.	代謝・内分泌内科
14	Rheumatol	FK506 inhibits murine AA amyloidosis possible involvement of T cells in amyloidogenesis.	Ueda M, Ando Y, Nakamura M, Yamashita T, Himeno S, Kim J, Sun X, Saito S, Tateishi T, Bergstrom J, Uchino M.	神経内科
15	Am J Transplant	Iatrogenic amyloid neuropathy in a Japanese patient after sequential liver transplantation.	Goto T, Yamashita T, Ueda M, Ohshima S, Yoneyama K, Nakamura M, Nanjo H, Asonuma K, Inomata Y, Watanabe S, Uchino M, Tanaka K, Ando Y.	神経内科
16	J Neurol Sci	Rotational vertigo associated with parietal cortical infarction.	Naganuma M, Inatomi Y, Yonehara T, Fujioka S, Hashimoto Y, Hirano T, Uchino M.	神経内科
17	Amyloid	Aging and transthyretin-related amyloidosis: Pathologic examinations in pulmonary amyloidosis.	Ueda M, Ando Y, Haraoka K, Katsuragi S, Terasaki Y, Sugimoto M, Sun X, Uchino M.	神経内科
18	Acta Neurol Scand	Intermittent oro-esophageal tube feeding in acute stroke patients - a pilot study.	Nakajima M, Kimura K, Inatomi Y, Terasaki Y, Nagano K, Yonehara T, Uchino M, Minematsu K.	神経内科
19	Pacing Clin Electrophysiol.	Tachycardia circuit in typical atrial flutter: the role of a posterolateral line of block in the perpetuation of the tachycardia.	山部 浩茂	循環器内科
20	Circulation Journal	Long-term efficacy of edaravone in patients with acute myocardial infarction.	辻田 賢一	循環器内科
21	Journal of Cardiology	Fulminant myocarditis survivor after 56 hours of non-responsive cardiac arrest successfully returned to normal life by cardiac resynchronization therapy : a case report.	菅村 公一	循環器内科
22	Pharmacogenetics and Genomics	A -786T>C polymorphism in the endothelial nitric oxide synthase gene reduces serum nitrite/nitrate levels from the heart due to an intracoronary injection of acetylcholine.	中山 雅文	循環器内科
23	European Heart Journal	Elevated levels of remnant lipoproteins are associated with plasma platelet microparticles in patients with type-2 diabetes mellitus without obstructive coronary artery disease.	古賀 英信	循環器内科
24	Atherosclerosis	Pravastatin improved glucose metabolism associated with increasing plasma adiponectin in patients with impaired glucose tolerance and coronary artery disease.	杉山 正悟	循環器内科
25	Circ J	Effects of intramyocardial administration of slow-release basic fibroblast growth factor on angiogenesis and ventricular remodeling in a rat infarct model.	Shao Z-Q	心臓血管外科

小計13

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
26	Ann Thorac Cardiovasc	Cell transplantation for cardiac repair.	Kawasuji M	心臓血管外科
27	脈管学	塩基性線維芽細胞増殖因子(bFGF)による冠血管新生療法	片山 幸広	心臓血管外科
28	Ann Thorac Cardiovasc Surg	Omission of mediastinal lymph node dissection in lung cancer: its techniques and diagnostic procedures.	Nomori H, Iwatani K, Kobayashi H, Mori A, Yoshioka S.	呼吸器外科
29	J Thorac Cardiovasc Surg	Sentinel node navigation segmentectomy for c-T1N0M0 non-small cell lung cancer.	Nomori H, Ikeda K, Mori T, Kobayashi H, Iwatani K, Kawanaka K, Shiraishi S, Kobayashi T.	呼吸器外科
30	Ann Thorac Cardiovasc Surg	Obstructive subglottic granuloma after removal of a minitracheostomy tube.	Ohtsuka T, Nomori H, Watanabe K, Kaji M, Naruke T, Suemasu K.	呼吸器外科
31	Ann Thorac Cardiovasc Surg	The Efficacy of Epidural Anesthesia in Patients After Video Assisted Thoracoscopic Surgery: a randomized control study.	Yoshioka M, Mori T, Kobayashi H, Iwatani K, Yoshimoto K, Terasaki H, Nomori H.	呼吸器外科
32	Jpn J Clin Oncol	Characteristics of advantages of positron emission tomography over computed tomography for N-staging in lung cancer patients.	Ebihara A, Nomori H, Watanabe K, Ohtsuka T, Naruke T, Uno K, and Eguchi K.	呼吸器外科
33	Ann Thorac Cardiovasc Surg	Kissing pleural metastases from metastatic osteosarcoma of the lung.	Mori T, Nomori H, Iwatani K, Kobayashi H, Yoshimoto K.	呼吸器外科
34	Ann Thorac Cardiovasc Surg	The efficacy of epidural analgesia after video-assisted thoracoscopic surgery: a randomized control study.	Yoshioka M, Mori T, Kobayashi H, Iwatani K, Yoshimoto K, Terasaki H, Nomori H.	呼吸器外科
35	Cancer Res	Embryonic stem cell derived dendritic cells expressing glypican-3, a recently identified oncofetal antigen induced protective immunity against highly metastatic mouse melanoma, B16-F10.	Motomura Y, Baba H.	消化器外科
36	Clin Cancer Res	Identification of HLA-A2, HLA-A24-restricted CTL epitopes possibly useful for glypican-3-specific immunotherapy of hepatocellular carcinoma.	Komori H, Beppu T, Baba H.	消化器外科
37	Pancreas	Enhanced trypsin activity in pancreatic acinar cells deficient for serine protease inhibitor Kazal Type 3	Ohmuraya M, Hirota M, Baba H.	消化器外科
38	World J Surg	Identification of prognostic factors associated with early mortality after surgical resection for pancreatic carcinoma-under analysis of cumulative curve-	Takamori H, Baba H.	消化器外科
39	J Hepatobiliary Pancreat Surg	The diagnostic efficacy of FDG-PET in the local recurrence of hilar bile duct cancer.	Chikamoto A, Takamori H, Baba H.	消化器外科
40	Pancreas	Applicability of DIC parameters in the assessment of the severity of acute pancreatitis.	Maeda K, Hirota M, Takamori H, Baba H.	消化器外科
41	Clinical Cancer Research	Reduced expression of the breast cancer metastasis suppressor 1 mRNA is correlated with poor progression in breast cancer.	岩瀬 弘敬	乳腺・内分泌外科
42	Transpl Int	Effect of tacrolimus and partial hepatectomy on transthyretin metabolism in rats.	Asonuma K	小児外科/ 移植外科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
43	Am J Transplant	Long-Term Outcome of Adult-to-Adult Living Donor Liver Transplantation for Post-Kasai Biliary Atresia.	Inomata Y	小児外科/ 移植外科
44	Pediatr Transpl	Bowel obstruction due to diaphragmatic hernia in an elder child after pediatric liver transplantation.	Okajima H	小児外科/ 移植外科
45	日本小児外会誌	小児リンパ管腫に対する最近の治療戦略 -第34回九州小児外科研究会アンケート調査による217例の検討	阿曾沼克弘	小児外科/ 移植外科
46	Cancer Cell	Mouse Model of Human Ovarian Endometrioid Adenocarcinoma Based on Somatic Defects in the Wnt/B-catenin and PI3k/Pten Signaling pathways.	Hidetaka Katabuchi	婦人科
47	Brain.Dev	Immobility reduces muscle fiber necrosis in dystrophin deficient muscular dystrophy.	Kimura.S	発達小児科
48	Hum Mol Genet	Smooth muscle-specific dystrophin expression improves aberrant vasoregulation in mdx mice.	Ito.K Kimura S	発達小児科
49	J Child Neurol	Novel mutation in splicing donor of dystrophin gene first exon in a patient who has dilated cardiomyopathy without clinical signs of skeletal myopathy.	Sigemi .Kimura	発達小児科
50	Biochem Bioph Res Co	Efficient Conversion of ES Cells into Myogenic Lineage Using the Gene-Inducible System.	Shiro.Ozasa	発達小児科
51	Osteoarthr. Cartilage	Expression of the PTH/PTHrP receptor in chondrogenic cells during the repair of full-thickness defects of articular cartilage.	水田 博志	整形外科
52	Eur. Radiol.	Monitoring therapeutic responses of primary bone tumors by diffusion-weighted image: initial results.	薬師寺 俊剛	整形外科
53	Am J Pathol	Increased expression of integrin $\alpha v \beta 5$ induces the myofibroblastic differentiation of dermal fibroblasts.	尹 浩信	皮膚科/ 形成・再建科
54	J Invest Dermatol	Involvement of $\alpha v \beta 5$ integrin in the establishment of autocrine TGF- β signaling in dermal fibroblasts derived from localized scleroderma.	尹 浩信	皮膚科/ 形成・再建科
55	Rheumatology	Constitutive phosphorylated Smad3 interacts with Sp1 and p300/CBP in scleroderma fibroblasts.	尹 浩信	皮膚科/ 形成・再建科
56	Int J Clin Oncol	Management of sentinel lymph nodes in malignant skin tumors using photon-emission computed tomography/computed tomography combination.	石原 剛	皮膚科/ 形成・再建科
57	Mol Pharmacol	Characterization of SIS3, a novel specific inhibitor of Smad3, and its effect on transforming growth factor- β 1-induced extracellular matrix expression.	尹 浩信	皮膚科/ 形成・再建科
58	Investigative Ophthalmology & Visual Science	Posterior vitreous detachment induced by subtilisin NAT (Nattokinase): A novel enzyme for pharmacological vitrectomy.	Takano A, Hirata A, Ogasawara K, Sagara N, Inomata Y, Kawaji T, Tanihara H.	眼科
59	Experimental Eye Research	Induction of matrix metalloproteinases (MMPs) and tissue inhibitors of MMPs correlated with outcome of acute experimental pseudomonal keratitis.	Ikema K, Matsumoto K, Inomata Y, Komohara Y, Miyajima S, Takeya M, Tanihara H.	眼科

小計17

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
60	Graefe's Archive for Clinical and Experimental	Choroidal dye filling velocity in patients with Vogt-Koyanagi-Harada disease. Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology, 244: 1056-1059,	Mawatari Y, Hirata A, Kawaji T, Yamada K, Fukushima M, Tanihara H.	眼科
61	Journal of Glaucoma	Frequency and risk factors for intraocular pressure elevation after posterior sub-Tenon's capsule triamcinolone acetonide injection.	Iwao K, Inatani M, Kawaji T, Mawatari Y, Tanihara H.	眼科
62	Japanese Journal of Ophthalmology	Stability of central visual field after modern trabeculectomy techniques in eyes with advanced glaucoma.	Awai M, Koga T, Inatani M, Inoue T, Tanihara H.	眼科
63	Laryngoscope	Immediate recurrent laryngeal nerve reconstruction and vocal outcome.	湯本 英二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
64	Am J Otolaryngol	Esophageal regurgitation as a cause of inspiratory distress after thyroplasty.	湯本 英二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
65	日本気管学会食道科会報	気管切開患者における気管腕頭動脈交差部の狭窄に対する対応	鮫島 靖浩	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
66	日本喉頭科学会誌	新型ホーネーションアナライザー (PA-1000) - Preliminary report -	讃岐 徹治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
67	Radiology	Pulmonary nodules: estimation of malignancy at thin-section helical CT- effect of computer-aided diagnosis on performance of radiologists.	栗井 和夫	画像診断・治療科
68	AJR	Quantitative analysis and effect of attenuation correction on lymph node staging of non-small cell lung cancer on SPECT and CT.	白石 慎哉	画像診断・治療科
69	Radiology	Added value of SPECT/CT fusion in assessing suspected bone metastasis: comparison with scintigraphy alone and nonfused scintigraphy and CT.	宇都宮 大輔	画像診断・治療科
70	Radiology.	Automated hepatic volumetry for living related liver transplantation at multisection CT.	中山 善晴	画像診断・治療科
71	AJR	Lower tube voltage reduces contrast material and radiation doses on 16-MDCT aortography.	中山 善晴	画像診断・治療科
72	European Radiology	Monitoring therapeutic responses of primary bone tumors by diffusion-weighted image: Initial results.	林田 佳子	画像診断・治療科
73	Pancreatology	Chemoradiotherapy in patients with pancreatic carcinoma: phase-I study with a fixed radiation dose and escalating doses of weekly gemcitabine.	Natsuo Oya	放射線治療科
74	International Journal of Radiation Oncology, Biology, Physics	Impact of FDG-PET/CT imaging on nodal staging for head-and-neck squamous cell carcinoma.	Ryuji Murakami	放射線治療科
75	Archives of Women's Mental Health	Multicentre prospective study of perinatal depression in Japan: Incidence and correlates.	Kitamura, T.	こころの診療科
76	Child Psychiatry and Human Development	Factorial structure of the Parental Bonding Instrument (PBI) in Japan: A study of cultural, developmental, generational, and sexual influences.	Uji, M.	こころの診療科
77	Journal of Interpersonal Violence	Anger feelings and anger expression as a mediator of the effects of witnessing family violence on anxiety and depression in Japanese adolescents.	Kitamura, T.	こころの診療科
78	Journal of Clinical Psychology	Personality traits as risk factors of depression and anxiety among Japanese students.	Matsudaira, T.	こころの診療科
79	Archives of Women's Mental Health	Adolescents' attachment style and early experiences: a gender difference	Matsuoka, N.	こころの診療科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
80	Psychiatry and Clinical Neurosciences	Egalitarian sex role attitudes in Japan: A confirmatory factor analytic study	Uji, M.	こころの診療科
81	Dement Geriatr Cogn Disord	Frequency and clinical characteristics of early-onset dementia consecutive patients in a memory clinic.	池田 学	神経精神科
82	Dement Geriatr Cogn Disord	Caregiver's burden associated with behavioral and psychological symptoms of dementia in the local community elderly people.	池田 学	神経精神科
83	精神科治療学	修正型電気けいれん療法を契機にセロトニン症候群を発症した大うつ病性障害の1例	藤瀬 昇	神経精神科
84	Movement Disorder	Complete suppression of paroxysmal non-kinesigenic dyskinesia by globus pallidus internus pallidal stimulation.	山田 和慶	脳神経外科
85	Journal of Neurosurgery	Indications for surgery in patients with asymptomatic meningiomas based on an extensive experience.	矢野 茂敏	脳神経外科
86	American Journal Neuroradiology	Clinical evaluation of cellulose porous beads for the therapeutic embolization of meningiomas.	甲斐 豊	脳神経外科
87	Surgical Neurology	Rising incidence of primary central nervous system lymphoma in Kumamoto, Japan.	牧野 敬史	脳神経外科
88	Neuromodulation	Psychiatric symptoms and subthalamic nucleus stimulation in Parkinson's disease. A retrospective study in our Japanese patients.	山田 和慶	脳神経外科
89	Interneutonal Neuroradiology	Evaluation of the stability of small ruptured aneurysms with a small neck after embolization with Guglielmi detachable coils: correlation between coil packing ratio and coil compaction.	甲斐 豊	脳神経外科
90	Cancer Chemother Pharmacol.	Phase I and pharmacokinetic study of amrubicin, a synthetic 9-aminoanthracycline, in patients with refractory or relapsed lung cancer.	Okamoto I. et al	薬剤部
91	Pharm Res.	Involvement of Indoxyl Sulfate in Renal and Central Nervous System Toxicities During Cisplatin-Induced Acute Renal Failure.	Iwata K. et al.	薬剤部
92	Am J Physiol Renal Physiol.	Down-regulation of V2 Vasopressin Receptor in Dehydration: Mechanisms and the Role of Renal Prostaglandin Synthesis.	Machida K. et al.	薬剤部
93	Clin Pharmacol Ther.	Effect of S-1 on pharmacokinetics of irinotecan in a patient with colorectal cancer.	Yokoo K. et al.	薬剤部
94	Ther Drug Monit.	Pharmacokinetics of amrubicin and its active metabolite amrubicinol in lung cancer patients.	Matsunaga Y. et al.	薬剤部
95	臨床病理	トランスサイレチンの病原性と疾患	安東 由喜雄	中央検査部
96	臨床病理	トランスサイレチン分析への応用	植田 光晴	中央検査部
97	Biochem Biophys Res Commun	Surface exposed epitopes and structural heterogeneity of in vivo formed transthyretin amyloid fibrils.	安東 由喜雄	中央検査部
98	Am J Transplant	Iatrogenic amyloid neuropathy in a Japanese patient after sequential liver transplantation.	安東 由喜雄	中央検査部
99	Biochem Biophys Res	A transgenic rat with the human ATTR V30M: A novel tool for analyses of ATTR metabolisms.	植田 光晴	中央検査部
100	Resuscitation	A moderate dose of propofol and rapidly induced mild hypothermia with extracorporeal lung and heart assist (ECLHA) improve the neurological outcome after prolonged cardiac arrest in dogs.	Keisuke Ichinose	中央手術部

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
101	Resuscitation	The effects of pre-arrest heparin administration dose for cardiac arrest model using extracorporeal lung and heart assist (ECLHA) in dogs.	Keisuke Ichinose	中央手術部
102	JMRI	Evaluation of diffusion-weighted imaging for the differential diagnosis of poorly contrast-enhanced and T2-prolonged bone masses: Initial experience.	林田 佳子	中央放射線部
103	Acta Oncologica	Concurrent chemoradiation therapy with low-dose CDDP and UFT for glottic carcinomas: evaluation using the sixth edition of the UICC TNM staging	村上 龍次	中央放射線部
104	Acta Radiol.	Usefulness of measurement of the temporal stem on magnetic resonance imaging in the diagnosis of frontotemporal dementia.	林田 佳子	中央放射線部
105	European Radiology	Multidetector-row CT and quantitative gated SPECT for the assessment of left ventricular function in small hearts: the cardiac physical phantom study using a combined SPECT/CT system.	宇都宮 大輔	中央放射線部
106	AJR	Cardiac 16-MDCT for anatomic and functional analysis: assessment of a biphasic contrast injection protocol.	宇都宮 大輔	中央放射線部
107	AJR	Simulation of aortic peak enhancement on MDCT using a contrast material flow phantom: feasibility study.	粟井 和夫	中央放射線部
108	診断病理	下顎の顆粒細胞型エナメル上皮腫の1例	本田由美、石原園子、猪山賢一	病理部
109	日本臨床細胞学会九州連合会雑誌	体腔液中にみられた空腸原発内分泌細胞癌の1例	田上さやか、徳永英博、本田由美、猪山賢一	病理部
110	CHEST	Microscopic-Sized "Microthymoma" in Patients With Myasthenia Gravis.	Mori T, Nomori H, Iyama K,	病理部
111	Jpn J Clin Oncol	Three Cases of Multiple Thymoma with a Review of the Literature.	Mori T, Nomori H, Iyama K,	病理部
112	Experimental Hematology	In vitro transdifferentiation of adult bone marrow Sca-1+c-kit-cells cocultured with fetal liver cells into hepatic-like cells without fusion.	米村 雄士	輸血・細胞治療部
113	Biocybernetics and Biomedical Engineering,	Ubiquitous tele-echography system : downsized wearable ultrasound probe with distributed processor and displays.	末永 貴俊	医療情報経営企画部
114	Journal of Neurovirology	Clinical symptoms and the odds of human T-cell lymphotropic virus type 1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis (HAM/TSP) in healthy virus carriers: application of best-fit logistic regression equation based on host genotype, age, and provirus load.	宇宿 功市郎	医療情報経営企画部
115	Immunogenetics	Genetic variability in the extracellular matrix protein as a determinant of risk for developing HTLV-I-associated neurological disease.	宇宿 功市郎	医療情報経営企画部
116	BMC Med Educ.	Quality of Care Associated with Number of Cases Seen and Self-reports of Clinical Competence for Japanese Physicians-in-training in Internal Medicine.	Hayashino Y, Fukuhara S, Matsui K, Noguchi Y, Minami T, Bertenthal D, Peabody JW, Mutoh Y, Hirao Y, Kikawa K, Fukumoto Y, Hayano J, Ino T, Sawada U, Seino J, Higuma N, Ishimaru H.	総合臨床研修センター

小計16

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
117	J Neurosurg.	Phase II study of nimustine, carboplatin, vincristine, and interferon-beta with radiotherapy for glioblastoma multiforme: experience of the Kyoto Neuro-Oncology Group.	Aoki T, Takahashi JA, Ueba T, Oya N, Hiraoka M, <u>Matsui K</u> , Fukui T, Nakashima Y, Ishikawa M, Hashimoto N.	総合臨床 研修センター
118	J Eval Clin Pract	Clinical prediction rules for bacteremia and in-hospital death based on clinical data at the time of blood withdrawal for culture: an evaluation of their development and use.	Nakamura T, Takahashi O, <u>Matsui K</u> , Shimizu S, Setoyama M, Nakagawa M, Fukui T, Morimoto T.	総合臨床 研修センター
119	Gen Med.	The Number of Lives Saved and Quality adjusted Life Years Prolonged by Ticlopidine Hydrochloride over the Past 20 years in Japan.	Fukui T, Maeda K, Rahman M, Morimoto T, Saito M, <u>Matsui K</u> , Shimbo T.	総合臨床 研修センター

小計3

計 119

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 倉津 純一		
管理担当者名	各診療科長 総務・企画課長	黒原 敏博	薬剤部長 齋藤 秀之 医事課長 岩間 吉治

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		総務・企画課 各診療科 中央病歴室	カルテ等病歴資料の管理について、外来診療録は、原則として、最終受診から1年間は当該診療科で管理し、その後は専任の事務職員を配置した「中央病歴室」で、患者ID番号により管理している。 入院診療録は、退院後1か月間は当該診療科で管理し、その後は、同様に中央病歴室で、患者ID番号により管理している。 なお、今後の課題として、1患者1カルテシステムを構築するため、電子カルテ等の導入を計画している。 また、現在、X線フィルムについては、各診療科の責任の下に管理しているが、平成20年4月よりフィルムレスシステムが稼働する予定である。 なお、診療録等を中央病歴室で保管する期限は、原則10年としている。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務・企画課		
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務・企画課		
	高度の医療の研修の実績	総務・企画課		
	閲覧実績	総務・企画課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営・管理課 薬剤部		
	確規保則の第9条の2、3	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医事課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医事課
	及び第11条各号に掲げる体制	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医事課		
医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医事課		
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医事課		
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医事課		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 赤塚 善一
閲覧担当者氏名	総務・企画課長 黒原 敏博
閲覧の求めに応じる場所	総務・企画課 事務室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	84.0%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A:紹介患者の数	12,113人	
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,931人	
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数	666人	
	D:初診の患者の数	17,494人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、C、の和をBとDの和で除した数に100を乗じて少数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任(1)名 兼任(18)名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ◎ 熊本大学医学部附属病院医療安全管理部（平成14年4月1日） <ul style="list-style-type: none"> 1. 医療の安全性の向上に係る企画・立案に関すること 2. 安全管理に係る教育・研修の企画に関すること 3. 医療事故及びインシデントの収集・調査・分析に関すること 4. リスクマネジャーとの連絡調整に関すること 5. 医療事故防止マニュアルに関すること 6. 医療安全管理委員会の庶務に関すること 7. 医療事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導を行うこと 8. 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと 9. 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと 10. 医療安全に係る連絡調整に関すること 11. 医療安全対策推進に関すること 12. その他医療事故の防止、医療の安全性の向上等に関し必要な事項 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理に関する基本的な考え方 <p>熊本大学医学部附属病院（以下「本院」という。）は、適切な安全安心と高信頼性の医療サービスを患者及びその家族（以下「患者等」という。）に提供するために、医療事故（インシデント、アクシデント等）、医薬品管理及び医療機器管理等を踏まえた医療に係る安全管理（以下「医療安全管理」という。）を目指す。</p> <p>また、「人間はエラーを犯す。」ということを前提に、従業者一人一人が医療安全管理に対する高い意識を持ち、関係する各部署及び各委員会等が連携を図り、本院における医療安全管理を推進する。</p> 2. 医療安全管理委員会及びその他の組織に関する基本的事項 <p>病院長を委員長とする医療安全管理委員会を設置し、医療安全管理に係る体制の確保及び安全性の向上に努めるものとする。また、医療安全管理委員会の下に、医療事故、医薬品安全管理及び医療機器安全管理に関し専門的に検討する組織として、医療事故調査専門委員会、医薬品安全管理専門委員会及び医療機器安全管理専門委員会を置くものとする。</p> <p>さらに、医療安全管理委員会及び各専門委員会の任務を支援するため、医療安全管理部を設置し、情報の収集・分析及び方策の企画立案等に当たることとする。</p> 3. 医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 <p>医療安全管理委員会は、従業者を対象とする医療安全管理に関する研修を年2回以上行う。また、医薬品及び医療機器の安全使用等に関する研修については、医薬品安全管理専門委員会及び医療機器安全管理専門委員会が企画・立案し、関係従業者を対象に必要な応じて行う。</p> 4. 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 <p>医療事故調査専門委員会は、医療安全管理委員会から付託された医療事故の原因究明に係る調査及び再発防止策等について審議するものとする。</p> <p>医薬品安全管理専門委員会及び医療機器安全管理専門委員会は、医薬品及び医療機器の取扱い等に関する不具合事象の各種報告にを基に内容を分析し、防止策の検討を行い、安全確保の措置を講ずることとする。</p> 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 <p>医療事故等が発生した場合は、迅速に患者の救命や回復に全力を尽くし、医療安全</p> 	

管理委員会で策定する「医療事故発生時の対応」等に基づき対応することとする。

6. 医療従事者と患者等との間の情報の共有に関する基本方針

(1) 診療情報の提供

医療従事者と患者等とのより良い信頼関係を構築することを目的とし、診療情報の提供等に関する指針（平成15年厚生労働省通知医政発0912001号）に従い、具体的な状況に即した方法により、医療従事者は患者等に対して、次に掲げる事項等について説明することとする。ただし、医療従事者は、患者が「知らないでいたい希望」を表明した場合には、これを尊重することとする。

また、患者が未成年者等で判断能力がない場合には、診療中の診療情報の提供は親権者等に対して行うこととする。

- ① 現在の症状及び診断病名
- ② 予後
- ③ 処置及び治療の方針
- ④ 処方する薬剤について、薬剤名、服用方法、効能及び特に注意を要する副作用
- ⑤ 代替的治療法がある場合には、その内容及び利害得失（患者が負担すべき費用が大きく異なる場合には、それぞれの場合の費用を含む。）
- ⑥ 手術や侵襲的な検査を行う場合には、その概要（執刀者及び助手の氏名を含む。）、危険性、実施しない場合の危険性及び合併症の有無
- ⑦ 当該診療情報が治療目的以外に、臨床試験や研究などの他の目的も有する場合には、その旨及び目的の内容

(2) 指針の閲覧

本指針は、本院のホームページ等に掲載することとする。

7. 患者等からの相談への対応に関する基本方針

患者等からの医療安全管理に関する相談及び苦情については、医療安全管理部が患者相談室と連携し対応する。

8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針

本指針以外に必要な細目は、医療安全管理委員会、医療事故調査専門委員会、医薬品安全管理専門委員会及び医療機器安全管理専門委員会が、別に定める。

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 年 12 回

・ 活動の主な内容:

医療安全管理委員会：月1回開催、医療事故の防止に係る基本方針、予防教育及び研修、医療の安全確保のため調査及び分析並びに再発防止策等の検討及び啓発等する事項を審議する。

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 年 34 回

(①研修の主な内容)

平成18年度医療安全管理に係る内部研修

研修名	開催日	対象職員職種	参加人員	時間	内容	講師
特別講演会「医療事故をめぐる法的知識-医療訴訟の防止のため」	4月6日	全職員	148	120分	医療安全のための講演会	成瀬 公博 弁護士 (成瀬法律事務所)
特別講演会「医療の質と安全について」-信頼される医師であるために	4月12日	全職員	155	120分	医療安全のための講演会	上原 鳴夫 講師 (東北大学大学院)
感染対策研修会(接触感染予防対策、食中毒を防ぐために)	6月20日	全職員	153	60分	感染対策研修会	多田 限 看護師長 猪原 栄 養管理室長
感染対策研修会(接触感染予防対策、食中毒を防ぐために)	6月26日	全職員	127	60分	感染対策研修会	多田 限 看護師長 猪原 栄 養管理室長
特別講演会「増加する医療事故紛争の現状と課題」	7月5日	全職員	108	120分	医療安全管理のための講演会	水島 幸子 弁護士 (弁護士法人淀屋橋・山上合同)
感染対策研修会(今、なぜ麻酔対策が必要か、今年のインフルエンザ対策のポイント)	10月12日	全職員	172	60分	感染対策研修会	宮川 助手(感染免疫診療部) 川口 助教授(感染免疫診療部) 佐藤 助教授(薬学部)
感染対策研修会(今、なぜ麻酔対策が必要か、今年のインフルエンザ対策のポイント)	10月18日	全職員	207	60分	感染対策研修会	宮川 助手(感染免疫診療部) 川口 助教授(感染免疫診療部) 佐藤 助教授(薬学部)
特別講演会「輸血部門における安全な輸血管理と適正使用」	11月2日	全職員	150	120分	輸血管理と適正使用	紀野 修一 講師 (旭川医科大学)

①救急処置が必要な縦隔胸膜炎 ②MR I検査の安全性について	12月4日	全職員	158	120分	臨床カンファレンス	興橋 教授(呼吸器内科) 橋田 診療放射線技術部門長 (医療技術部)
特別講演会「医療事故の被害者の立場から医療者に望むこと」	2月9日	全職員	449	120分	医療安全管理のための講演会	永井 裕之 講師 (医療の良心を守る会市民の会)
癌治療と診療連携	2月26日	全職員	244	120分	臨床カンファレンス	金光 講師(消化器外科)
		小計	2,071	11回		

研修名	開催日	対象職員職種	参加人員	時間	内容	講師
新規採用(研修医)のオリエンテーション	4月4日	新規採用研修医	43	60分	医療安全管理Ⅰ	川筋 教授
新規採用(研修医)のオリエンテーション	4月11日	新規採用研修医	43	60分	医療安全管理Ⅱ	平野 講師
新規採用者秋季オリエンテーション	12月21日 12月26日	平成18年度新規採用職員	90	290分	医療安全管理について 院内感染防止について 放射線障害防止について	宇宿 教授、医事課長 川筋 教授、弘GRM 川口 助教授、多田 看護師長 山下 教授、橋田 技師長
		小計	176	4回		

研修名	開催日	対象職員職種	参加人員	時間	内容	講師
新規採用者(看護師)オリエンテーション	4月3日	新規採用・中途看護師	93	1日	消防のオリエンテーション	看護部教育委員
	4月4日	〃	96	1日	輸血製剤、IDバンド	安東 中央検査部長代理 米村 講師 菊池 助教授 川筋 教授
	4月5日	〃	96	1日	個人情報保護法 医療安全管理 労働安全衛生管理 薬剤師業務 院内感染対策 医療ガスの取扱い	本田 安全管理室長 本田 副薬剤部長 川口 助教授 川重防災工業(株)東部医装営業部 岡田正 講師 橋田 技師長 右田 看護師長 熊本西消防署指導課長
新人のためのナーストレーニング	4月10日	新規採用看護師	52	90分	医療安全入門	看護師長
	4月11日	〃	46	90分	医療安全入門	看護師長
	4月20日	〃	23	90分	看護情報	看護師長
	4月21日	〃	24	90分	看護情報	看護師長
	4月24日	〃	24	90分	看護情報	看護師長
	4月26日	〃	52	90分	感染対策	看護師長
	4月27日	〃	46	90分	感染対策	看護師長
	4月28日	〃	24	90分	看護情報	看護師長
	5月2日	〃	94	70分	看護記録	看護師長
	5月10日	〃	31	120分	医療安全基礎	看護師長
	5月11日	〃	36	120分	医療安全基礎	看護師長
	5月12日	〃	33	120分	医療安全基礎	看護師長
	5月19日	〃	92	90分	BLS研修	ICUスタッフ
6月14日	〃	36	90分	医療安全実施編	看護師長	
6月15日	〃	34	90分	医療安全実施編	看護師長	
6月16日	〃	29	90分	医療安全実施編	看護師長	
		小計	961	19回		

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容:
 - ①報告制度について:(職員等への周知方法) インシデントレポートはWeb上で周知する。
 - ②問題点の把握方法: リスクマネージャーにより検討の上、留意点、対応策を添えてWeb上で公開する。
 - ③問題点の分析方法: 医療安全管理部で事例に対する分析を行う。
 - ④改善策の検討方法: インシデント事例に対する職種別傾向等の分析結果を、医療安全管理委員会、医療安全管理部会、リスクマネージャー連絡会議で報告する。医療事故については、書面により報告し、医療安全管理委員会及び医療安全対策に関するカンファレンスで検討する。

